

科目	単位 (時間数)	時期	講師名 (職名) (時間数)
周産期の診断・治療論	2 (45)	1 学期	① 院外講師 (産婦人科医師) (21)
			② 院内講師 (小児科医師) (6)
			③ 院内講師 (麻酔科医師) (2)
			④ 院内講師 (整形外科医師) (2)
			⑤ 院内講師 (眼科医師) (2)
			⑥ 院内講師 (薬剤師) (5)
			⑦ 院内講師 (内科医師) (2)
			⑧ 院内講師 (内科医師) (1)
			⑨ 院内講師 (皮膚科医師) (2)
			⑩ 院内講師 (循環器内科医師) (2)

目標



周産期の助産診断に必要な診断と治療について理解できる。

回	時間	項目	授業内容	授業方法	講師
1	2	生殖に関連した疾患	1) 性感染症、不妊症、月経困難症、子宮筋腫、卵巣腫瘍	講義	①
2	2	妊娠期の異常とハイリスク妊娠	1) 妊娠悪阻、妊娠高血圧症候群、HELLP 症候群 2) 妊娠持続期間の異常 流産、早産 (頸管無力症、絨毛膜羊膜炎)、過期妊娠 3) 着床異常 異所性妊娠、前置胎盤 4) 胎児付属物の異常 胞状奇胎、羊水過多、羊水過小	講義	
3	2		5) 胎児の異常 多胎妊娠、子宮内胎児死亡、血液型不適合妊娠、胎児発育不全 (FGR) 6) 合併妊娠 子宮筋腫合併妊娠	講義	
4	2		1) 産道の異常 ①CPD の診断法 ②試験分娩 2) 娩出力の異常 ①微弱陣痛 ②過強陣痛 3) 進入の異常 前在頭頂骨進入、後在頭頂骨進入 胎児機能不全とその診断	講義	
5	2		分娩期の異常と産科合併症	4) 分娩に伴う疾患の診断と治療 ①前置胎盤、常位胎盤早期剥離 ②子癇、HELLP 症候群、肺塞栓症、羊水塞栓 ③子宮破裂	
6	2				
7	2				

8	2		5) 会陰裂傷・頸管裂傷縫合の基礎知識 外陰血腫 会陰切開・縫合術【模型演習】	講義 演習	
9	2	産科手術・産科処置	6) 産科手術・産科処置 ①分娩時の産道裂傷と処置	講義 演習	①
10	2		②急速遂娩の適応・要約・条件 会陰切開、クリステレル子宮底圧迫法、吸引分娩 ③ハイリスク分娩の管理 誘発分娩、TOLAC（既往帝切後妊娠の経膈分娩トライアル）、双胎の経膈分娩 ④人工妊娠中絶、子宮内胎児死亡 子宮頸管縫縮術 ⑤骨盤位牽出術、帝王切開術	講義	
11	2	新生児の生理と病態、低出生体重児	1) 新生児の生理 2) 新生児の系統的診察法	講義	②
12	2		3) ハイリスク新生児の管理 ①低出生体重児の成長発達の特徴 ②低出生体重児の特徴と治療 ③新生児の疾患と治療 RDS（呼吸窮迫症候群）、MAS（胎便吸引症候群）、TTN（一過性多呼吸）、高ビリルビン血症 低酸素性虚血性脳症、胎児循環遺残	講義	
13	2		④症状と治療 無呼吸発作、慢性肺疾患、低血糖 低カルシウム血症 ⑤新生児外科疾患 （食道閉鎖、横隔膜ヘルニア、鎖肛など） 4) NICU の管理と成育医療	講義	

14	2	産科麻酔、無痛分娩	<p>1) 総論</p> <p>①麻酔の種類 全身麻酔、硬膜外麻酔、脊椎麻酔、局所麻酔</p> <p>②産科麻酔の対象 妊娠中の手術、帝王切開、無痛分娩</p> <p>③産科麻酔の特殊性 胎児への影響 母体の生理に由来する危険性</p> <p>2) 各論</p> <p>①妊娠中の手術の麻酔</p> <p>②帝王切開の麻酔</p> <p>③無痛分娩</p>	講義	③
15	2	新生児の整形外科疾患	<p>1) 骨格の発生と発達</p> <p>2) 先天性股関節脱臼の症状、病態、治療</p> <p>3) 先天性内反足</p> <p>4) 先天性骨系統疾患 ダウン症候群、骨形成不全症、軟骨異栄養症、軟骨無形成症、二分脊椎、脊髄髄膜瘤</p> <p>5) 分娩外傷 鎖骨骨折、分娩麻痺（上腕神経麻痺、橈骨神経麻痺）</p> <p>6) 脳性麻痺</p>	講義	④
16	2	新生児と眼疾患	<p>1) 眼の解剖生理</p> <p>2) 胎児期における網膜の発達</p> <p>3) 未熟児網膜症</p> <p>4) 未熟児網膜症の発生機序</p> <p>5) 未熟児網膜症の予防、治療</p>	講義	⑤
17	1	母子の臨床薬理	<p>1) 母体と薬</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠時期による胎児の発生と薬剤の影響（臨界期）</li> <li>・妊娠中に注意すべき薬剤（催奇形性・胎児毒性） アミノグリコシド系抗結核薬 降圧薬、抗けいれん剤、テトラサイクリン系抗生物質、大量のビタミン A、抗てんかん薬、ワファリン、抗がん剤、経口血糖降下薬、非ステロイド系消炎鎮痛薬</li> <li>・妊娠中に使用可能な薬剤 抗生物質、降圧薬、糖尿病薬、抗甲状腺薬、解熱・鎮痛薬</li> </ul>	講義	⑥

18	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>2) 異常妊娠に用いる薬剤 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子宮収縮抑制薬（塩酸リトドリン）</li> <li>硫酸マグネシウム（マグセント注）</li> <li>・妊娠高血圧症候群の薬物療法</li> <li>・子癇発作時の薬物</li> </ul> </li> <li>3) 産褥期の薬剤と児への影響 <ul style="list-style-type: none"> <li>・母乳移行する薬剤</li> </ul> </li> </ul>	講義	
19	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>4) 分娩時に使用する薬剤 <ul style="list-style-type: none"> <li>・陣痛促進剤の特徴、半減期、通常至適濃度、安全限界、プロスタグランディン、オキシトシン</li> </ul> </li> <li>5) 女性と薬 <ul style="list-style-type: none"> <li>・経口避妊薬</li> <li>・性感染症治療薬</li> </ul> </li> <li>6) 骨粗鬆症治療薬</li> </ul>	講義	
20	2	母子の内分泌疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 妊娠糖尿病（GDM） <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠糖尿病の母体合併症</li> <li>児の合併症</li> <li>・妊婦の耐糖能検査、スクリーニング法、診断法</li> <li>・妊娠糖尿病の血糖管理の方法</li> </ul> </li> </ul>	講義	⑦
21	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>2) 甲状腺疾患合併妊娠、検査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・甲状腺疾患合併妊娠における合併症</li> <li>・妊娠中の甲状腺機能検査</li> <li>・甲状腺機能亢進症と妊娠、治療方針</li> <li>・甲状腺機能低下症と妊娠、治療方針</li> </ul> </li> </ul>	講義	⑧
22	2	妊産婦、新生児・乳幼児の皮膚疾患、アレルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 皮膚の構造</li> <li>2) 皮膚の所見（紅斑、紫斑、丘疹など）</li> <li>3) 妊娠期の皮膚変化、皮膚疾患 <ul style="list-style-type: none"> <li>①妊娠中の生理的な皮膚変化（色素沈着、妊娠線）</li> <li>②アトピー性皮膚炎をもつ妊婦の妊娠中の管理</li> </ul> </li> <li>4) 乳幼児の皮膚疾患 <ul style="list-style-type: none"> <li>脂漏性湿疹、おむつ皮膚炎など</li> </ul> </li> <li>5) 乳幼児のアトピー性皮膚炎</li> </ul>	講義	⑨
23	2	母子と循環器疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 妊娠に伴う母体の循環器系の変化</li> <li>2) 心疾患患者の妊娠・分娩</li> <li>3) 妊娠に関する循環器的問題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・仰臥位低血圧症候群</li> <li>・血栓症</li> <li>・羊水塞栓症</li> <li>・周産期心筋症</li> </ul> </li> </ul>	講義	⑩
24	1	終講試験（45分）		試験	①

授業形態	講義
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 (講師① 50点、講師② 25点、講師⑥ 25点) 履修規程第5条、第6条に定めるとおりとする。
テキスト	講師① ・助産学講座 2 ・助産学講座 6 ・助産学講座 7 ・分娩介助学 (産科手術・産科処置の頁) 講師② ・助産学講座 8 ・新生児学入門 講師③ ・助産学講座 7 講師④⑤ ・助産学講座 8 講師⑥⑦⑧⑩ ・助産学講座 6 講師⑨ ・助産学講座 6 ・助産学講座 8
参考図書等	・産婦人科診療ガイドラインー産科編 2023  ・産婦人科診療ガイドラインー婦人科外来編 2023 
備考	講師の授業時期は並行あるいは前後することがある。